

第3回はりまや橋から高知城までの東西軸エリア活性化に係るプラン検討会

日 時：平成22年3月31日（水） 9:30～11:10

場 所：県庁第二応接室

出席者：はりまや橋から高知城までの東西軸エリア活性化に係るプラン検討会委員

西山委員（会長）、宅間委員、古谷委員、秋山委員、木村委員、広末委員、有光委員、
小川委員、早川委員、大西委員、田村委員、澤村委員、松田委員、重山委員、衛藤委員
浜田委員

（欠席：岡内委員（副会長）、安藤委員、小谷委員）

高知市

安藤副市長、黒田総務部総合政策担当参事、
千光士商工観光部雇用対策・中心市街地活性化担当参事、
山本建設下水道部副部長、清水都市計画課長 ほか

高知県

久保総務部副部長、岡崎産業振興推進部地域産業振興監（高知市地域担当）、
東教育委員会事務局教育次長、福田文化・国際課長、川澤経営支援課長、
中島観光政策課長、野々村都市計画課長ほか

1 議事

（1）プラン案 平成22年度の本格的な検討と実行に向けた出発点とたたき台について

①プラン案の位置付けについて（安藤高知市副市長から）

前回の委員会から一月半弱経過をいたしました。

この間2月県議会、そして3月市議会、それからパブリックコメント等も実施しましたところ、この東西軸エリア活性化プランに対します、様々なご議論、ご意見をいただいたところでございます。

県・市それぞれの議会での意見、パブリックコメント等を通じまして、非常に今回のプランの打ちだし方の問題、また、私ども若干説明不足の点があったようでございまして、非常にいろんな誤解を招いていたというところが明らかになりました。

いつも一貫して申し上げてきたところですが、あくまでも今回のプラン、これは議論のたたき台というものを県・市でまず提案させていただいて、今後、来年度以降に、商店街の皆様、街の皆様と協働してやっていくべきものと、そのスタートラインの案であるということでございます。したがって、当然このプランの変更、場合によっては中止、というようなこともありうる、あくまでもこれはキックオフであるということで打ち出しをさせていただいたわけですが、若干そこがきちんと伝わっていなかった、あたかも県・市、官主導でこのプランを決めて、決定というようなことで位置付けられているのではないかと、いう誤解が非常に多くありました。

それからもう一点、60以上の具体的な施策の打ち出しをさせていただいたところですが、県・市の方の職員で思いつきを並べているのではないかと、というようなご指摘も受けておりましたが、決してそういうことではございません。大半の施策につきましては、多くの民間の皆様、はりまや橋周辺活性化協議会、それから商店街の皆様方、経済界の皆様方から、かねてからご提案があったようなものを、これを元に、コンセプトを設けて束ねてきたというものですので、県・市の職員の思いつきで打ち出したというような施策というのはほんの一握りでございます。

例えば県議会などでは、足湯の件で非常にご指摘を受けたところですが、これも実は旅館ホテル組合の方がぜひ温泉プロジェクトをやりたいということで、産業振興計画の高知市の地域アクションプランの中で登載をしている案でございます。その中で単に旅館ホテルで温泉を設けるといっただけじゃなくて、街中や、また福祉施設等でもお湯をお配りして、温泉の活用みたいなことをやっていかないかという中から、今回の足湯の部分について、東西軸のプランの一つとして具体的な案としてご提示を申し上げたという次第です。単に思いつきで足湯をパッと設けたと、プランに入れたということでは決してございませんが、その背景も含めた説明が若干足りなかったのではないかと、いう反省をしています。

いずれにいたしましても、県議会・市議会でもそれぞれ高知市の中心商店街、中心市街地が現状のままでよいというご意見はお一人もいらっしゃらなかったもので、なんとかよりよくしていくべきであると、今、これに取り組むべきであるというところについては、きちんとご同意をいただいたと考えております。

以上のような点を踏まえまして、また尾崎知事、岡崎市長とも相談をいたしまして、もう少し、今回のプランの案の位置づけ、これがスタートラインであるということが分かるような打ち出しをすべし、というような指示もいただきまして、本日は前回と違うような形で若干修正を加えたものをご提示しているところでございます。

詳細につきましては、この後、県・市それぞれから説明をさせていただきますが、以上のようなことで、少し前回から打ち出し方を変えさせていただいています。今年度、最後の委員会ですので、一旦これでとりまとめると、いうことで申し上げていましたが、少しそこは位置付け、打ち出し方を明確にするということで少し修正したものを今日ご提示させていただいております。

また本日は活発なご議論いただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

②パブリックコメントについて（事務局説明）

③県・市の予算等の状況について（事務局説明）

④地域アクションプランについて（事務局説明）

⑤プラン策定に向けた対応方針について（事務局説明）

- ・ 検討会の継続・強化
- ・ プロジェクトチームの設置
- ・ その他の取り組み
- ・ 年間スケジュールについて
- ・ 事務局体制等の強化

【意見交換】

プラン案（出発点・たたき台）に対する意見について

（A委員）

この3ヶ月間、日曜市にはすごい人数が押し寄せている。パブリックコメントでも、この機会に日曜市から街に人を流すという意見も結構出ている。

プロジェクトチームを3つ設置することになっているが、日曜市についても、プロジェクトチームを立ち上げてはどうか。

（会長）

プロジェクトチームの編成については、今の案では3つになっているが、今後、必要性があれば設置を検討することになる。パブリックコメントの意見も事務局でもう少し精査し、その結果を踏まえ、新たなプロジェクトチームの設置を考えたい。

<事務局>

プロジェクトチームの設置については、今後検討させていただく。

（A委員）

パブリックコメントの受け取り方法（メール、FAX等）の内訳を教えてください。

<事務局>

メールが22件、手紙が7件、直接持ってきたのが1件。

（B委員）

パブリックコメントでの意見は必ずしも建設的、肯定的のものばかりではないが、意見を述べていただいた方々に、どういった形でフィードバックしていくのか。

<事務局>

パブリックコメントでの意見に対して、県なり市の考え方を整理して、それを公開することになっている。基本的に、個人への回答はしていない。

（C委員）

プラン関連の当初予算を計上しているが、その予算の執行にあたって、各プロジェクトチームの意見や意向が尊重されるのか。

<事務局>

プロジェクトチームでは、予算化したものというよりは、これから事業展開していくものに対して、ご提案をいただき、次年度での予算化に向け、検討していきたいと考えている。また、予算執行にも意見があると思うので、関係者との調整を十分図っていききたいと考えている。

(2) 新年度の体制について

① 検討会委員

- ・ 事務局より、現在の委員に対し、来年度以降も引き続き委員として参画していただくことを依頼（出席者全員承認）

② 会長及び副会長

- ・ 事務局より、引き続き、会長に西山昌男高知県商工会議所連合会会頭、副会長に岡内啓明高知県観光コンベンション協会会長に就任していただくことを依頼（出席者全員承認）

③ 副会長の1名追加

- ・ 検討会委員から、検討会の新たな副会長として広末幸彦高知市商店街振興組合連合会理事長を推薦。（出席者全員承認）

(3) 検討すべき課題に対する意見について

(D委員)

追手筋の街路樹を伐採すると、日曜市の場所から高知城がよく見え、日曜市と高知城が一体となった写真が撮れるようになり、日曜市のPR用ポスターとかに活用できる。よさこい祭りも同様に、踊っている背景に高知城が入っているカメラアングルができるようになり、これもPRにつながる。

伐採はなかなか難しいと思うが、こういった会で取り上げ、それに基づく提案であれば、ある程度市民の方も耳を貸すぐらいのことはしてくれると思う。

ソテツを植えてはどうかとの意見もあるが、高知は椰子の木があって白い砂浜があってという南国ではないということを認識すべき。昔、高知駅周辺にも植えられていたが、南国高知という言葉に引きずられて、イメージづくりとして植えられたものと思う。歴史的にも植物学的にも何の価値もない。南国高知ではあるが、そういう南国ではないということで、この意見に反論すればいい。

(会長)

追手筋の街路樹は市民も関心がある。切ってしまうのもなかなか難しい。ただ、景観に対する意見もでているので、PTなどで練ってもらうことも考えなければならない。

(A委員)

東西だけでなく南北の通りにも日曜市をおいて、商店街への誘客につながるという意見は面白い。自分の考えだが、日曜市をグリーンロードまで延長すれば、中央公園や帯屋町に誘客できると思う。

NTT と大神宮前の通りも、新歴史系資料館が財務事務所跡地にくれば、大きな可能性を秘めた場所になると思うので、日曜市の出店や歩行者天国にしてイベントを行うことなどを検討したらどうか。

(会長)

日曜市は、後継者不足など空き店舗が増えている状況であり、店舗の数を増やすということになると、希望者がいるかどうか懸念される。

(A 委員)

出店したい人は多いと思う。ジャンルをもう少し多岐にわたるように、例えば工芸品とか加工品も OK にするとか。また、3月からおびさんロードでは「オーガニックマーケット」をやっているが、そういった方と協力すれば、幅広い日曜市ができるのではないかと思う。

(E 委員)

パブリックコメントには、中心商店街の甘えと言った厳しい意見もある。街の魅力を出す中で、最終的には支援ではなく、中心商店街の人たちの意識の改革が必要。個店の集まりなので意見を集約するのは難しいと思うが、この1年間プロジェクトチームを進める中で、中心商店街の意見を集約し、この検討会でリンクしていくという方法も考えていただきたい。みんなが一体となってやっていける方向になっていけばいいと思う。

(F 委員)

中心市街地は必要という認識で、県・市トップの意思のもと、県・市が一体となり、これだけの有識者が集まって、いろいろな意見を出し合っていることに感謝する。年度が変わったらずぐに、中心商店街の評議会とかがあるので、このプランの説明会をしていただき、各商店街にも周知していきたい。商店街が一体となって、市民・県民に中心商店街は必要と思ってもらえるようにすることが我々の努めと思っているので、委員皆様や行政の協力も得ながら推進していきたい。

(B 委員)

このプランにより、活性化に向け、取りかかっている中、現在の空き店舗の地権者は、この活性化プラン導入に対してどういった認識をもっているのか。

(F 委員)

空き店舗対策では家賃の問題がある。商店街の売り上げが落ちていることから、家賃を下げるよう個々にお願いはしてきているが、個々の懐事情が違うということで受け入れられてこなかった。今は、そういう時代ではないということアピールしながら、継続して働きかけていきたい。このプランができれば地権者に説明する義務は商店街組合としてあると思う。

(B 委員)

地権者の方にも、実際に商店街で活動されている方と同じ認識を持ってもらい、自分たちの中心商店街を活性化していくという中で役割意識をもってもらい、そういった場づくりが重要。

(A 委員)

歴史系資料館について、まちづくりの機能というものをもう少し集積させるような、例えば歴史・文化だけでなく、芸術・文化の頭脳が集まるような拠点になるよう、歴史文化と芸術文化の複合施

設みたいなものを考えてほしい。また、コンテンツビジネスやフィルムコミッションを考える場所というものも機能としてあってもよい。まちづくりの観点を念頭に、そういった機能を考えてほしい。

<事務局>

今後、基本構想を策定していくことになっているが、その中で機能とか場所を決めることになっている。

(G委員)

イオンとか郊外店に行ったら、赤ちゃんに授乳する場所が必ず設置されており、若い方が行きやすい環境になっている。ぜひ、街中でもそういったソフト面の対策もあればと思う。

(H委員)

プランにあげられている事業一つ一つでは商店街の方もぴんとこないものもあると思う。もっと簡単にすぐできること、例えば観光客の方に一声かけるといったおもてなしの心を取り入れることなどは街全体に協力を得やすいと思う。手軽にできる魅力アップということもやっていきたい。

<事務局>

検討会のアドバイザーから、ハードだけではなく、心の快適空間が大事、おいでいただいた方に心のおもてなしをするホスピタリティみたいなことが重要との意見をいただいている。

(A委員)

追手筋のトイレには授乳施設はあるのか。改修は終了しているのか。

<事務局>

6月から7月頃にということで準備を進めている。授乳施設はないが、多目的トイレは構えている。

(D委員)

予算額が記載されているが、これは県・市それぞれの単費か。国からの補助金も含めてか。

<事務局>

県の方では国庫補助金を含めたものもある。先日、経済産業省にも相談に行ったが、地域商店街活性化法をもっと活用したらどうかとアドバイスをいただいた。法律の認定を受ければ、2/3、受けなくても1/2、1/3の補助で国の支援が受けられる。県・市で予算計上をしているが、今後、商店街の方と話をしていく中で、こういった制度も活用していただき、なるべく、県費・市費を減らしていくということ考えている。

(D委員)

先日、高松の丸亀商店街を見学した時の商店街のトップの方から、「商店街に地元の税金を使って整備して、それに対して固定資産税等で返す」、「今、商店街に投資してもらったら将来街はこれだけ儲かる」というようなプレゼンテーションをしているとの話を聞き、ものすごく説得力を感じた。今回パブリックコメントで辛辣な口調の意見もでていますが、説明のやり方によっては、変わっていたの

ではないか。税金を投入して、商店街以外の方々にどういったメリットがあるのかということをも、もう少し上手に説明できるのではないかと思った。

3 閉会